

1 1月28日 朝礼にて 校長講話

2年生から6年生の人は、毎年この時期に人権についてのお話を聞くとおもいますが、1年生の人は初めてだよね。

今日はどんなお話かというと、「ぼくがここに」という詩から考えてみたいと思います。この詩は、まどみちおという人が書いた詩なんですけど、「ぼくがここに いるとき ほかの どんなものも ぼくに かさなって ここに いることは できない」って、どういう意味だと思えますか。どんなことを言いたいのだと思えますか。隊形を変えて、なかま班で話し合ってもらえますか。

ぼくが	ここに		
		まどみちお	
ぼくが	ここに	いるとき	
ほかの	どんなものも		
ぼくに	かさなって		
ここに	いることは	できない	
もしも	ゾウが	ここに	いるならば
そのゾウだけ			
マメが	いるならば		
その一つぶの	マメだけしか		
ここに	いることは	できない	
ああ	このちきゅうの	うえでは	
こんなに	だいに		
まもられているのだ			
どんなのが	どんなところに		
いるときも			
その「いること」こそが			
なににも	まして		
すばらしいこと	として		

続きがわからなかったら何がいいたいかわからないっていう声もありました。(全文は右に) その「いること」こそがとっても大切なんですね。となりの人の顔を見て下さい。自分と同じ顔の人はいますか。いませんよね。1年生から6年生までいろんな人がいて、いろんなことを考えていますが、それぞれが、そこにいることこそが大切なんです。自分がここにいてこそが大切なんです。だから簡単に「死ぬ」なんて言うてはいけないし、友だちに「死ね」なんて言っちゃだめだよね。お互いに、お互いをたいせつにしなければいけません。「人権」っていうのは、そういうことだと思えます。

1 2月4日から10日は人権週間です。それぞれが大切な存在なんだということ意識して生活してほしいと思えます。